

公正な事業慣行

倫理的で誠実な事業活動を行うことがすべての基本です。コンプライアンスを徹底することはもちろん、サプライチェーンにおける環境や人権に配慮した持続可能な調達を実現することも、将来にわたって持続的で安定した事業活動を行っていくためには欠かせません。

調達方針

2018年4月18日 制定

私たちは、企業理念に基づき、安全で安心できる高品質の製品・サービスを提供するために、高い倫理観に根ざした公正・公平で透明性のある取引を実施し、お取引先とのパートナーシップのもと、社会的責任を果たす調達活動を推進します。

1. コンプライアンスを遵守します。

私たちは、関係各国の社会規範や関連する法令を尊重・遵守し、公正で透明性のある調達活動を行います。

2. 高い品質と安全性を確保します。

私たちは、お客様に信頼され、安心していただけるよう、高い品質と安全性を確保した調達活動を行います。

3. お取引先の公正・公平な評価と選定を行います。

私たちは、お取引先に対し、常に公正・公平な参入機会を提供し、品質・コスト・納期の他、安定供給、技術力、経営安定性などの総合評価を行い、公正・公平に選定します。

4. 人権や労働環境に配慮します。

私たちは、人権を尊重し、サプライチェーンの人権侵害に負担することなく、労働環境に配慮した調達活動を推進します。

5. 環境問題に配慮します。

私たちは、地球環境に及ぼす影響を把握し、環境に配慮した調達活動を推進します。

持続可能な調達に向けた取り組み

重要原材料

使用している原材料を使用量、依存度、代替の可否、環境や社会との関わりなどの視点で総合的にリスクを評価し、重要原材料を整理しています。また、事業や地球環境の変化、社会からの要請に応じて定期的に重要原材料を見直していきます。

重要原材料

カカオ豆	：チョコレート製品の主原料
パーム油	：幅広い製品に用いられる油脂や食品添加物の原料
紙	：幅広い製品に用いられる包材

重要原材料①カカオ豆

中期目標

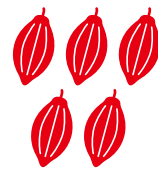
私たちは、2023年度までに調達するカカオ豆のうちフェアカカオの割合を20%以上にする、さらに2028年度までに50%以上にすることを目標に掲げています。

2023年目標



20%以上

2028年目標



50%以上

Fair Cacao Project (フェアカカオプロジェクト)

カカオ豆は、その多くが赤道直下の地域で、零細農家によって生産されています。カカオ豆を主原料とするチョコレートが主力製品である私たちにとっ



て、カカオ豆の将来にわたる安定調達は重要な課題です。そのため、(株)ロッテでは、カカオ豆の生産地に寄り添い、現地の経済的・社会的発展に貢献する調達活動を「Fair Cacao Project」と名付けて取り組んでいます。その活動に基づき、生産地域が明確で、調達費用の一部が様々な生産地への支援に使われているカカオ豆(フェアカカオ)の調達割合を拡大していきます。

カカオ豆の調達実績

2018年度のカカオ豆の調達実績は6,353tで、そのうちフェアカカオの割合は7.9%でした。今後も、カカオ豆の持続可能な調達に取り組み、フェアカカオの調達割合を拡大していきます。

カカオ豆調達量

2017年度	5,800t	うちフェアカカオ8.6%
2018年度	6,353t	うちフェアカカオ7.9%

集計対象：(株)ロッテ

社会との連帯

農家の支援や、生産地域の経済発展、将来の農家の担い手である子供たちの教育水準の向上に貢献することは、カカオ豆の将来にわたる安定調達につながります。そこで、NPOやNGOなどと連帯して支援に取り組んでいます。

● 世界カカオ財団 (World Cocoa Foundation)

カカオ農家の支援を目的として2000年にアメリカで設立された国際的なNPO法人です。赤道直下のカカオ栽培地域にて、カカオ農家の技術支援や、過酷な児童労働のない社会の実現を目指した活動に取り組んでいます。



● ジョイセフ

女性のいのちと健康を守るために活動している1968年に日本で設立された国際協力NGOです。ジョイセフを通じて、2008年からガーナ共和国への再生自転車などの寄贈を支援しています。診療所が不足している現地の村に届けられた再生自転車は、保健推進員や助産師が利用し、家庭訪問による健康教育などに用いられています。



ジョイセフの活動

● 国連 WFP (国際連合世界食糧計画 WFP 協会)

飢餓のない世界を目指して活動する国連の食糧支援機関で、活動の柱の一つとなっているのが学校給食プログラムです。学校給食を届けるためのキャンペーンである「レッドカップキャンペーン」に参加し、国連WFPがガーナ共和国で行う、学校給食プログラムを支援しています。

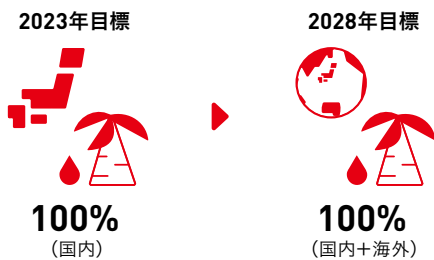


学校給食プログラムの様子
©WFP/Mandang-ba Mustapha

重要原材料②パーム油

中期目標

私たちは、2023年度までに国内で調達するパーム油を、RSPO(持続可能なパーム油のための円卓会議)認証などの第三者認証油に100%切り替えること、さらに2028年度までに国内外のグループ会社でも実現することを目標に掲げています。



パーム油の調達実績

2018年度の国内におけるパーム油の調達実績は15.9千tで、前年度より0.6千t増加しました。

パーム油調達量

2017年度	15.3千t
2018年度	15.9千t

集計対象：(株)ロッテおよび(株)メリーチョコレートカムパニー
油脂および油脂加工品に含まれるパーム油の重量

社会との連帯

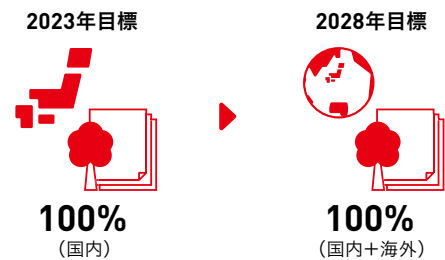
持続可能なパーム油の調達を推進するため、RSPOに加盟しています。RSPOを通じてパーム油に関わる企業・団体と連帯し、パーム油産業全体の持続可能な発展に貢献していきます。



重要原材料③紙

中期目標

私たちは、2023年度までに国内で調達する製品の包材に用いる紙を、FSC(森林管理協議会)認証などの第三者認証紙や再生紙といった環境に配慮した紙に100%切り替えること、さらに2028年度までに国内外のグループ会社でも実現することを目標に掲げています。



紙の調達実績

2018年度の国内における製品の包材に用いる紙の調達実績は45.5千tで、そのうち環境に配慮した紙の割合は92.0%となり、前年度より0.5ポイント増加しました。今後も、紙の持続可能な調達に取り組み、環境に配慮した紙の調達割合を拡大していきます。

紙調達量(製品の包材)

2017年度	44.0千t	うち環境に配慮した紙91.5%
2018年度	45.5千t	うち環境に配慮した紙92.0%

集計対象：(株)ロッテおよび(株)メリーチョコレートカムパニー

サプライヤーとの取り組み

価値観の共有

私たちは、調達方針に基づき、持続可能な調達活動を推進してきました。調達方針には、倫理的な取引や品質、安全性に関してはもちろん、サプライチェーンにおける環境や社会への配慮についても掲げています。しかしながら、サプライチェーンのグローバル化に伴い、私たちだけでサプライチェーン全体における環境や社会への影響を管理することは難しく、サプライヤーの皆様と協働して取り組むことが不可欠です。そこで、2019年4月に「株式会社ロッテ サプライヤーガイドライン」を制定しました。本ガイドラインを通して、サプライヤーの皆様と基本的な価値観を共有し、さらには対話を通じてより有益な関係を構

築して、共に持続可能な社会の実現に貢献することを目指しています。

すでに、本ガイドラインの説明会を実施し、理解の促進に努めています。今後も定期的を開催するとともに、アンケートなどを通じた対話により、更なる理解促進と関係構築を進めていきます。

品質に関する取り組み

品質に関して取引先に自己評価をお願いし、それに基づいてフィードバックや衛生点検を行っています。これにより、食品安全をはじめとする品質全般にわたり、継続的な改善を推進しています。衛生点検では、チェックリストを用いて必要事項を網羅的に確認するとともに、必要に応じて改善要請を行い、その結果を確認しています。

コンプライアンス

行動憲章 LOTTE Group Way

「行動憲章 LOTTE Group Way」は(株)ロッテおよび子会社の役員と従業員全員が理解し、これに基づいて業務を行う指針として2008年に制定しました。また、ホームページなどで公開しており、倫理的で誠実な事業活動を社会に約束しています。7つの項目から構成されており、企業理念である「ロッテグループミッション」と「ロッテバリュー」を実現するための行動指針として位置付けられています。

また、ホームページ以外にも、企業理念ウェブブックおよび多言語版冊子の中でも行動憲章について解説し、全役員と従業員への浸透と理解促進を図っています。



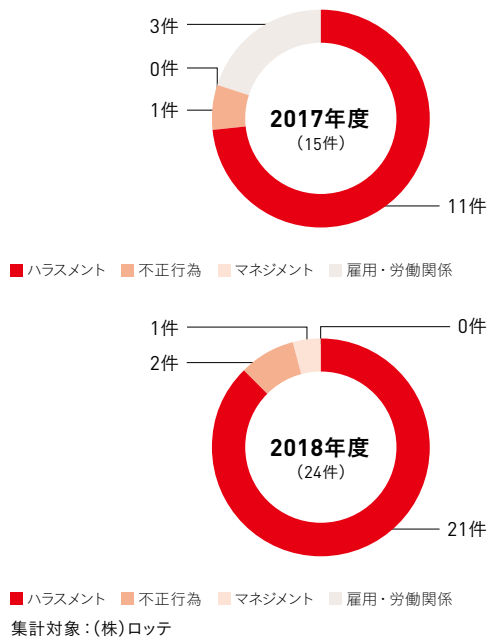
コンプライアンス研修

行動憲章の浸透と倫理的で誠実な事業活動の実践のために、従業員を対象としたコンプライアンス研修を行っています。2018年度は、前年度に引き続き、新入社員を対象にコンプライアンス研修を実施しました。今後も、計画的に研修を継続していきます。

内部通報制度

(株)ロッテでは、内部通報制度として「クリーンライン」を2006年より社内を設置し、電話やメール、手紙などで従業員からの通報や相談を受け付けています。対応については、通報者のプライバシー保護に努めるとともに、通報による不利益が生じないように細心の注意を払っています。また、(株)ロッテおよび国内外の子会社で、社外通報窓口を2018年より順次設置しており、内部通報の実効性を高めています。

通報窓口への相談・通報件数



情報セキュリティ

(株)ロッテでは「情報セキュリティマネジメント委員会」を設置し、お客様や従業員、技術に関わる機密情報の保護と管理に取り組んでいます。同委員会では、情報セキュリティに関する教育も行っており、新入社員への研修の他、定期的に標的型攻撃メールに関する注意喚起を行うとともに、実践型の訓練を実施しています。